



幼保小中一貫教育プロジェクト

南部保育園では、今

南部保育園では、日常の保育はもちろん、避難訓練を大切にしています。万が一のときに「想定外」とならないよう、日頃から避難訓練を行っています。

今回紹介する火災や地震だけでなく、異常気象・大型台風による土砂災害など、何が起こるか分かりません。そのため、「非常災害対策計画」を策定し、万が一に備えています。

<火災避難訓練>

毎月、火災避難訓練を行っています。室内遊び中、給食中、延長保育中、土曜日など、毎月状況を変え、その時々で職員、子どもたちが適切な判断ができるよう工夫しています。



<地震避難訓練>

年に3回程度、地震避難訓練を行っています。揺れを感じたら、机の下に隠れる、あるいは保育室のセーフティーエリア（物が倒れてくる恐れのないスペース）に避難することを繰り返し伝えています。



ひなた保育園では、今

ひなた保育園では、発達著しい0歳～2歳の育ちを、一人一人丁寧に見ていく保育を柱に、保育者や子ども同士のコミュニケーションを通じ、生きる力を育むことを大切にしています。また、愛着形成が育まれる大事な時期なので、子どもと保護者の良好な関係を育む支援も大切にしています。

<自然と共に>

1・2歳児は、園周辺の田んぼや畑、ふれあいの森へお散歩に出掛け、草花や虫を探しています。また、元気な家族農園でサツマイモを育て、秋に芋掘り体験をしました。季節感を大切に保育を行っています。



<地域の子育て支援>

月2回の園庭開放には、地域の親子が参加して、園児と遊んだり、保護者の子育て相談を受けたりしています。保育終了後のママ広場では、安心して子育てできる拠点となるようママヨガなどを行っています。

